



地域の人々が安全・安心に暮らすために 暴力や犯罪のない環境づくりに寄与する

香川県遊技業協同組合

「継続的な『暴力団排除活動』と
『安全・安心街づくり活動』の支援」事業



香川県遊技業協同組合
理事長

平山 剛さん

警察や防犯協会と連携しながら 安全・安心なまちづくりに協力

香川県遊技業協同組合（以下、香遊協）では、これまで防犯カメラの設置、青パト（青色回転灯装備車）運営の経済的支援、特殊詐欺などの犯罪情勢に応じた防犯用品の提供などを通じ、安全・安心なまちづくり活動の促進・協力を努めてきた。

その柱の一つとなるのが、遊技業界を挙げて取り組んでいる暴力団排除活動である。香川県では「香川県暴力追放県民センター」が中心となって様々な対策が講じられているほか、5年ごとに「暴力追放香川県民大会」が開催されている。2022年9月には暴追センター設立30周年の記念大会が実施されたが、香遊協では県下全域のホールから招集された組合員35名がこの大会に参加した。これは警察以外の民間関係団体として最も多い人数であり、関係者から高い評価を得ている。また、香遊協では1996年から同センターに対して運営資金の寄付を行っており、これまでの総額が610万円となっている。

暴排活動と並んで力を入れているのが、住民が安全で安心して暮らせるまちづくりの中心となっている公益財団法人「香川県防犯協会連合会」の活動への協力である。毎年秋には防犯活動の意識高揚のため、「安全・安心まちづくり県民大会」が開催されているが、この大会に毎回、香遊協からボランティアとして20数名の組合員が参加しているほか、2006年から香川県遊技業防犯組合連合会名義で寄付を行っており、総額で1,700万円となっている。昨年10月14日の大会では、長年にわたる協力に対して香遊協に感謝状が贈られた。また、各地区で年4回ほど実施される防犯活動では毎回、5名前後がボランティアで参加している。さらに、5年前からは防犯活動と青少年健全育成の観点から、高松商業高校、高松西高校書道部に防犯意識を高める標語作品（縦4m×横6m）の制作を依頼し、ショッピングセンターへ掲示するなどして、活動の盛り上げに寄与している。



香遊協の組合員が多数参加した「暴力追放香川県民大会」



ショッピングセンターに掲示された防犯意識を高める標語作品